

技術移転フォーラム2022工業試験場成果発表会

日時：令和4年6月13日（月）

主催：地方独立行政法人北海道立総合研究機構

産業技術研究本部工業試験場

令和4年6月13日（月）に、ホテル札幌ガーデンパレス2階にて「技術移転フォーラム2022工業試験場成果発表会」が開催されました。本イベントは、道内4高専と道総研との連携協定により研究活動に取り組んでおり、その一環として、研究開発・技術支援の成果を公開する道総研主催の成果発表会に例年道内4高専が参加するものです。

今年度は、北海道地区高専からは、エネルギー分野1件、防災・減災分野1件の計2件のポスター展示を行いました。

当日は、約270名もの来場があり、技術相談や共同研究等に興味を持っていただいた企業も多く、産学連携のより一層の発展が期待される様子でした。

＜エネルギー分野＞

テーマ：K-Smart が拓く超スマート社会の実現に向けた実装技術の開発

＜防災・減災分野＞

テーマ：放電プラズマ技術を用いた感染症対策の検討

道内4高専（函館、苫小牧、釧路、旭川）と「北海道」によるサイエンスパーク

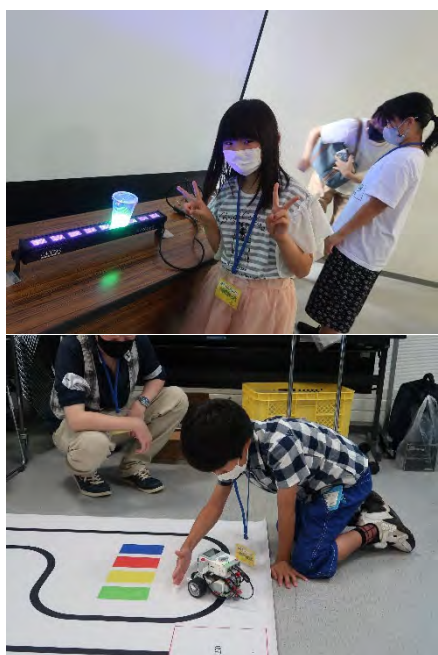
日時：令和4年8月4日（木） 場所：札幌エルプラザ4階 研修室5

主催：苫小牧工業高等専門学校

令和4年8月4日（木）に、札幌市の札幌エルプラザ4階にて、道内4高専と「北海道」との連携合同パネル展を開催しました。

本パネル展は、道内4高専と北海道との包括連携協定に基づき、科学への興味関心を向上させることを目的としてパネル展示や科学実験講座を実施しているものです。

今年度は、会場の改修工事の都合から実験講座のみの出展でしたが、札幌近郊に住む小中学生等を対象に、科学実験を通じて高専という学校のPRを行いました。



令和4年度教員研究発表会

日時：令和4年9月26日（月） **場所：函館高専 L107（第1講義室）**

主催：地域共同テクノセンター

令和4年9月26日（月）に、本校第1講義室にて、地域共同テクノセンター主催による教員研究発表会を開催致しました。

本研究発表会は、研究活動の活発化や教員の資質能力向上等を目的に、教員自身の研究内容や取組事例等について教職員向けに発表するものです。今回は以下のとおり、令和4年度に採用された教員2名による発表を実施しました。

参加した教職員は発表内容に真剣に耳を傾け、盛んに質疑や意見交換を行うなど、今後における研究活動の一層の促進に期待した様子でした。

- ①一般系 准教授 牧之内 友 「戦前日本の宗教行政 - 宗教団体法と宗教結社制度-」
- ②一般系 准教授 横山 泰範 「機能性(生体)材料と高分子材料の複合化による材料科学の新展開」



牧之内准教授の発表



横山准教授の発表

ビジネス EXPO

日時：令和4年11月10日（木）・11日（金）

場所：アクセスサポロ

主催：北海道 技術・ビジネス交流会実行委員会

令和4年11月10日（木）・11日（金）に、アクセスサポロにて、ビジネスEXPO(北海道 技術・ビジネス交流会)が開催されました。

本事業は道内外の製造業、IT関連等の企業や団体間のビジネス交流を促進する北海道最大級のイベントで、高専の技術や取組を社会に発信しものづくりに関する新たなネットワークを形成することを目的としています。例年、道内4高専共同で出展しており、昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、対面に加えてオンラインを併用し、「イノベーション創造北海道～SDGs×デジタル新時代～」のテーマにより開催され、315の企業・団体が出展しました。

4高専共同の出展ブース（学術・試験研究機関展示ゾーン）では、各校の特色ある教育内容等を紹介するポスター展示を行い、函館高専からは「生物・食品分野」として、阿部准教授に「飲料・食品産業における研究シーズ」について発表いたしました。

2日間合わせて約100名の来場があり、技術相談や共同研究等に興味を持っていただいた企業も多く、産学連携のより一層の発展が期待される様子でした。

展示の様子



HAKODATE アカデミックリンク 2022

日時：令和4年11月6日（日）（ライブ形式による発表）

令和4年11月10日（木）～12月4日（日）（オンデマンド形式による発表）

主催：キャンパス・コンソーシアム函館

令和4年11月6日（日）に、キャンパス・コンソーシアム函館主催による「HAKODATE アカデミックリンク 2022」がオンラインで開催されました。

本事業は、コンソーシアム加盟機関（本校、北海道大学水産学部、北海道教育大学函館校などの高等教育機関）および、特別参加の学校や団体（函館市内の高校、青森県の大学、南北海道学術振興財団）による合同研究発表会で、「ブースセッション」（47チーム）と「ステージセッション」（11チーム）形式により、各機関の研究内容や取組事例を披露しました。

本校からは、「ブースセッション(ポスター又はスライドを掲載)」に5チームが、また、「ステージセッション(スライド及びスライドを使用した8分以内の動画を掲載)」に1チームが参加し、開催期間中は学生たちが日々熱心に取り組んだ研究の成果が公開され、大変壮観な様子でした。

審査の結果、本校ではブースセッションに参加した2チームが審査員特別賞とピアレビュー賞を受賞することができ、受賞チームの学生たちは、今後も一層研究に励むモチベーションに繋がった様子でした。なお、オンライン開催のため、受賞チームは阿部校長へ12月16日（金）に受賞を報告しました。

(ブースセッション)

1)	鈴木研究室	避難時情報把握用缶バッチの製作	審査員特別賞
2)	ピーナッツ・インパクト と丸山ラボの仲間たち	無線のエネルギーで何が出来る？	
3)	メッシュ 製作所	AIを用いた有限要素法におけるメッシュ生成 ツールの作成	
4)	アンバーズ	学会発表のススメ！～wincootでモデリング！ 海綿のカロテノプロテインを見る！	
5)	水工学研究室	道南地域の海岸で発生した陥没型被災メカニズム について	ピアレビュー賞

(ステージセッション)

1)	植物工場	植物工場のグリーンハウス内 自動運搬・自動走行マシンの開発	
----	------	----------------------------------	--



記念撮影 左から阿部校長、チーム「鈴木研究室」の大地裕さん（専攻科2年生産システム工学専攻）と、高橋真人さん（専攻科1年生産システム工学専攻）、鈴木准教授



記念撮影 左から阿部校長、チーム「水工学研究室」の加藤佑典さん（専攻科2年社会基盤工学専攻）と内糸直樹さん（専攻科1年社会基盤工学専攻）、越智准教授

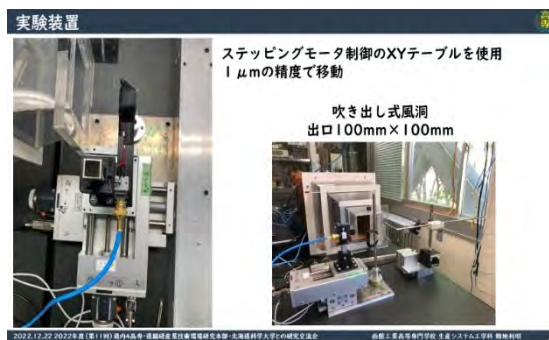
第 11 回 道内 4 高専・道総研工業試験場・北海道科学大学との研究交流会

日 時：令和 4 年 12 月 22 日（木） 場 所：オンライン

主 催：釧路工業高等専門学校

令和 4 年 12 月 22 日（木）に、「第 11 回 道内 4 高専・道総研工業試験場・北海道科学大学との研究交流会」を開催しました。本交流会は、各機関間における学术交流協定に基づき道内 4 高専の地域共同テクノセンターが企画する道内 4 高専連携事業の一環として開催しているもので、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響からオンラインでの開催となりました。各機関が研究発表を 1 件ずつ行い、本校からは生産システム工学科の劔地利昭准教授が、「流れの中に置かれた円柱まわりに発達する速度境界層の精密計測」と題して発表しました。

交流会の最中には活発な質疑応答や意見交換が行われ、最後は来年度主催の本校・丸山珠美地域共同テクノセンター長の閉会の挨拶によって、盛況のうちに終了いたしました。今後の産学官の連携活動のますますの発展が期待されます。



劔地利准教授の発表